

(5)観光交流・プロモーション：観光交流・プロモーションの推進

村が考える住民の皆さまの幸せのかたち

「シビックプライド（郷土愛）の醸成」
「村内外の人が集う場所、機会の創出」

施策の目的

本村の特徴ある資源を活用して、魅力を創出するとともに、広く周知・プロモーションを進めることで交流人口や関係人口の増加を図ります。

現状を踏まえた課題

- ・「とびしまルシェ」や、イルミネーションイベントである「Tobishima Lights（トビシマライツ）」等のイベントを企画し、村の魅力を発信しています。
- ・観光に対するニーズが複雑多様化している中、観光資源の発掘・活用により村の知名度を高めることで、交流人口や関係人口の増加を図り、村のにぎわいを創出することが求められています。

▶取り組みの体系

【観光交流・プロモーション】 観光交流・プロモーション の推進	多様な観光交流ルートの創出
	観光交流拠点の創出
	プロモーションの推進
	観光資源・特産品の開発
	魅力的な誘客イベントの実施
	誘客施設の一体的開発・観光的活用
	SNS を活用した情報発信・交流人口の増加
	広域観光の推進

主な取り組み

① 多様な観光交流ルートの創出

名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会と連携し、村を通じた工場見学の受け入れを進め、観光ルートとして展開します。

② 観光交流拠点の創出

ふれあいの郷を再編し、パンや弁当等の加工場を設置することで地産地消を促進するとともに、高齢者や障がいのある人等の雇用と生きがいの創出に努めます。また、拡大した産直市等を展開し、民間事業者への委託等を検討しながら、温泉施設を核とした観光拠点となるよう誘客に努めます。

③ プロモーションの推進

プロモーションを活気づくりの中核をなす取り組みと位置づけ、役場組織の改編とともに拡大した取り組みを推進します。

④ 観光資源・特産品の開発

本村の特徴ある景観について、長期的な視野で観光資源としての開発に取り組みます。また、飛島ふ頭クルーズ（トビシマクルーズ）を観光資源として定着させるとともに、全国工場夜景都市協議会への参画を進め、加盟都市との連携を深めます。

さらに、地元企業との連携を図りながら、日本酒、手土産品や、ふるさと納税返礼品といった特産品の開発に取り組みます。

⑤ 魅力的な誘客イベントの実施

「とびしまルシェ」や「Tobishima Lights（トビシマライツ）」の実施とともに、住民の意向を踏まえながら、その検証を行います。さらに、若年層のニーズを踏まえたイベントの企画・実施に取り組みます。

⑥ 誘客施設の一体的開発・観光的活用

すこやかセンターやふれあいの郷等の誘客施設を活用した観光ルート等を企画・発信するとともに、総合的に活用することによって観光地としての魅力を高めます。

⑦ SNS を活用した情報発信・交流人口の増加

村公式 YouTube 等の SNS を積極的に活用した情報発信とともに、交流人口の増加に向けた取り組みを進めます。

⑧ 広域観光の推進

近隣の温泉施設との連携を図りつつ、スタンプラリー等温泉を周遊して楽しめるような広域観光ルートの構築に向けて取り組みます。

計画指標	基準値 (令和 3 (2021)年度)	目標値 (令和 9 (2027)年度)
① 工場見学を含む観光ルートの整備 ・令和 9 (2027) 年度までに整備します。	—	整備済
② 観光交流拠点の整備 ・令和 9 (2027) 年度までに整備します。	—	整備済

計画指標	基準値 (令和3(2021)年度)	目標値 (令和9(2027)年度)
③ 観光交流協会の組織強化 ・令和14(2032)年度までの法人化を目指し、令和9(2027)年度までに組織を改編します。	—	改編済
④ 全国工場夜景都市協議会への参加・連携 ・令和9(2027)年度までに参加し、他の参加都市との連携を図ります。	—	連携継続
⑤ 特産品の種類 ・令和3(2021)年度の実績(1種類)を令和9(2027)年度までに10種類まで増やします。	1種類	10種類
⑥ トビシマライツ来場者数 ・令和2(2020)年度の実績(7,087人)を令和9年度には約40%(3,000人)増やすことを目標とします。	7,087人 令和4(2022)年度の実績	年10,000人
⑦ トビシマクルーズの来場者数 ・令和4(2022)年度の実績(478人)を令和9(2027)年度には倍増することを目標とします。	年478人	年950人
⑧ すこやかセンター等との一体的な開発・観光的活用 ・令和9(2027)年度までに、すこやかセンター等の紹介を含めた「るるぶ飛島村(改訂版)」を発行します。	—	発行済
⑨ 村公式YouTubeの総再生回数 ・令和2(2020)年度の実績(1,059回)を令和9(2027)年度には累計3,000回に増やすことを目標とします。	1,059回	累計3,000回
⑩ 観光交流協会SNSフォロワー数※ ・令和3(2021)年度の実績(214人)を令和9(2027)年度には倍増することを目標とします。	214人	430人
⑪ 温泉施設との連携 ・令和9(2027)年度までに他の温泉施設と連携し、広域観光ルートを構築します。	—	実施済

※FacebookおよびInstagramのフォロワー数とします。

住民・行政の協働に向けて

- ▶**行政**：イベントの開催や施設の再編等により、本村の魅力を高めつつ、全国に向けて発信します。
- ▶**住民**：イベントへ積極的に参加します。